

# ウポ みんなが新しい

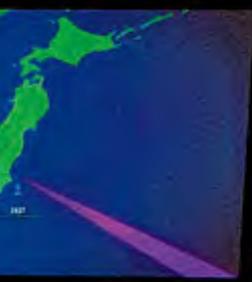


博物館の2階から目の前のポロト湖が見渡せる



博物館の外観。正面の屋根には博物館のロゴが浮かび上がる

# ポイ 歌をうたおう



1884 1905 1932 1945 1946 1947 1961 1964 1970 1974 1980 1987 1992 1996 1997



7月12日、ウポポイ(民族共生象徴空間)が期待を集めてオープンしました。オープン決定前の6月9日~14日にかけて、白老町民向け内覧会が行われ、新型コロナウイルス対策を取りつつ、アイヌの伝統芸能や、国立アイヌ民族博物館が紹介されました。

博物館の展示は大きく6つに分かれ、「私たちのことば」「私たちの世界」「私たちの暮らし」「私たちの歴史」「私たちのしごと」「私たちの交流」に心ゆくまで浸ることができます。古いもの新しいものを含め、貴重な美しい資料がたくさん。是非、ウポポイを訪れてみませんか。

表紙：ポロト湖畔の屋外ステージで披露されたアイヌ古式舞踊「サルルンカムイリムセ（鶴の踊り）」。  
親鶴が子どもに羽ばたきを教え、最後にはともに大空を飛ぶ姿を鶴の鳴き声のお囃子とともに表現。切れの良い鮮やかな動きは見る者を引き込む

目次：内覧を終えた戸田安彦白老町長（中央）は、「3時間では足りなかった。自然と共生する北海道中のアイヌ文化に触れてほしい」と期待を寄せた

（公社）北海道アイヌ協会加藤忠理事長（現常務理事・左）は、「国民の皆さんに感謝しかない。各地域のアイヌ文化をしっかりと伝えたい」と喜びで一杯の様子

裏表紙：アイヌ古式舞踊「イヨマンテリムセ」。狩りの獲物の魂を神に返す踊り。繰り返される歌と輪になって回る動きに陶然となる

北海道で初めてつくられた国立博物館。伝統的なアイヌ文化や現代に息づく多様なアイヌ文化を一堂に展示。来館者の興味や関心に合わせて、アイヌを知ることができる。